

Halo iQ 初回フィッティング手順

対象製品: Halo iQ

Halo iQは、iOSデバイスやAndroid端末とペアリングする前に、Inspireで補聴器の調整を行う必要があります。

補聴器のフィッティング接続

1. iOSデバイスまたはAndroid端末の **Bluetooth** を無効にします。
2. **新しい電池**を補聴器に入れて、電池ドアを閉めます
3. **InspireX** を起動します。接続開始画面で「**プログラム装置表示**」をクリックし、**TruLinkワイヤレスプログラマー**、**NOAH Linkワイヤレスプログラマー**、または適切なプログラム装置を選択して「**OK**」をクリックします。
注意: TruLinkプログラマーは、見通し約7mの範囲で使用可能です。
4. 調整したい補聴器の**チェックボックス**にチェックを入れます。
5. 新規フィッティングや再調整を行う場合は「**補聴器の読み込み**」を選択し、過去に保存されたフィッティング履歴を補聴器に書き移す場合は「**履歴の読み出し**」を選択して、「**開始**」をクリックします。

Halo iQ補聴器は、Synergyプラットフォームを中心として、ツインコンプレッサー技術、アキュイティエーション指向性、耳鳴治療音全ての器種に搭載しています。Halo iQ は中継器なしで iOS デバイスや Android 端末、更に TruLink リモコンと接続することができます。接続可能機器についての最新情報は <https://www.starkeyjp.com/> をご参照下さい。

初期フィットとオートパス

新規の補聴器を調整すると、初期フィット画面が自動的に起動します。

1. **音響オプション**を選択後「**OK**」をクリックします。
2. **補聴器の経験**の状況として当てはまる項目を選択します。[図①]
(経験レベルについての詳細は、QuickTIPS: 経験管理をご参照ください。)
3. **オートパス**画面ではユーザーに補聴器を装着させ、できる限り静かな場所で「**開始**」をクリックします。
注意: ユーザー不在の状態初期フィットを行った場合、後からでも良いので必ずユーザーの耳に補聴器を装着して、再度オートパスフィッティングなどの初期化を行って下さい。
4. オートパスの結果画面を確認し、初期化に成功した場合は「**閉じる**」をクリックしてフィッティング画面に進みます。もし、初期化に失敗している項目がある場合は「**再度開始**」をクリックします。



①初期フィット画面・補聴器の経験

ユーザーコントロール

初めてInspireXと接続した新規の補聴器は、初期フィット画面での選択後にユーザーコントロール設定の画面が表示されます。設定方法のデモ動画を見る場合は「**デモを見る**」をクリックします。「**再表示しない**」にチェックを入れて「**閉じる**」と、次回以降はこの表示を省けます。[図②]
(詳細はQuickTIPS: ユーザーコントロールをご参照下さい。)



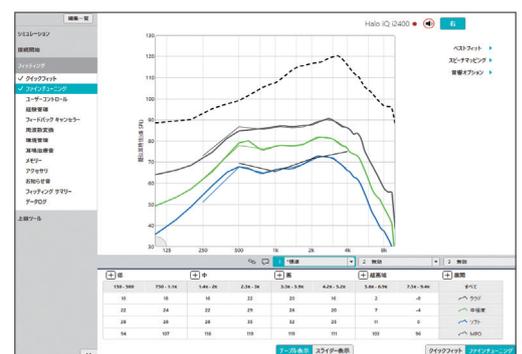
②ユーザーコントロール

クイックフィットとファインチューニング

- » 補聴器の大まかな音質調整には「**クイックフィット**」を選択します。[図③]
- » チャンネル毎・入力レベル毎の音質調整には「**ファインチューニング**」を選択します。
(詳細は、QuickTIPS: クイックフィット&ファインチューニングをご参照下さい。)

その他の機能の調整

- » その他、環境管理、耳鳴治療音、周波数変換などの調整についての詳細は、QuickTIPSをご参照下さい。



③クイックフィットとファインチューニング

メモリーとスピーチお知らせ音

左側ナビゲーションメニューの**メモリー**を選択する、または画面中央の**メモリー名**を選択します。

1. メモリー名の横の(▼) **ドロップダウンリスト**をクリックして、目的に合う環境メモリーを選択します。
2. 「**音楽メモリー**」を選択する場合は、*QuickTIPS : 音楽メモリー*をご参照ください。
3. メモリーメニューには選択したメモリーの環境名が表示されます(例:屋外など)。「**お知らせ音表示**」を選択すると、設定に対するスピーチお知らせ音を変更できます(例:「屋外」を「ゴルフ」と音声でお知らせ)。[図④]
4. メモリーメニューの**リンクアイコン**を選択すると、全てのメモリーをリンクさせることができます。特定のメモリーを自動的にメモリー1にリンクさせるには、**メニューバー**の「**選択**」から「**一般**」を選択し、メモリーオプションの「**ワンウェイ・メモリーのリンクを有効**」をチェックします。これを有効にすると、メモリー1の周波数特性に変更を加える都度、リンクされた全てのメモリーにもメモリー1の変更が反映されます。一方で、リンクされたメモリーに対して変更を加えても、どのメモリーにも変更は反映されません。[図⑤]



④スピーチお知らせ音を表示する切替ボタン



⑤ワンウェイ・メモリーのリンク(連結)アイコン

アクセサリ

左側ナビゲーションメニューの**アクセサリ**を選択してTruLinkリモコンの設定を行います。(詳細は*QuickTIPS : TruLinkリモコン*をご参照下さい) [図⑥]



⑥アクセサリ画面・TruLinkリモコン

お知らせ音

左側ナビゲーションメニューの**お知らせ音**を選択します。

1. 「**個別にお知らせ音を設定**」のチェックボックスを選択/解除し、お知らせ音の有効/無効を設定します。
注意: お知らせ音の音量は個別に調整することができます。
2. **すべてのお知らせ音**では、お知らせ音全体のトーンやスピーチ/チャイムを±5dBステップで増減することができます。またはスピーチお知らせ音の言語を選択できます。
3. **個別にお知らせ音の調整**では、個別にお知らせ音の音量や音源の設定が可能であり、「**デモ**」の**補聴器**からお知らせ音を再生してユーザーに音を確認したり、**PCのスピーカー**からお知らせ音を再生してご家族にも音を確認してもらうことができます。
4. **メモリー/ホーム**を選択してスピーチお知らせ音を設定します。スピーチお知らせ音は環境を表す音声によるお知らせです。メモリーを有効にすると、初期設定のスピーチお知らせ音は選択された環境に一致します。例えば、屋外メモリーを選択すると「屋外」と聞こえます。音源の下の**ドロップダウンリスト**(▼)から選択し、スピーチお知らせ音を変更できます。例えば、屋外のメモリーを選択した時に「ゴルフ」と聞こえるように設定できます。[図⑦]
注意: TruLinkやストリームブーストのお知らせ音を無効にすることもできます。



⑦スピーチお知らせ音

メモリー名	環境	音源	音量	トーン	スピーチ	TruLink Boost
M1: 音楽	音楽	音楽	0dB	音楽	有効	有効
M2: 環境	環境	環境	0dB	環境	有効	有効
M3: 屋外	屋外	屋外	0dB	屋外	有効	有効
M4: 電話	電話	電話	0dB	電話	有効	有効

⑧フィッティングサマリー

フィッティングサマリー

左側ナビゲーションメニューの**フィッティングサマリー**を選択します。[図⑧]

1. 設定の変更が必要な場合は各機能の「**詳細**」をクリックします。機能に関する詳細はリンクされており、選択するとそれぞれの調整画面に移動します。
2. **印刷**を選択すると、**フィッティングレポート**、**データログレポート**やボリュームレベル、メモリーやお知らせ音リストの記載した**デバイスガイド**が作成されます。[図⑨]

iOSデバイス/Android端末とのペアリング

1. フィッティングが終了したら、**InspireX** を閉じて下さい。
2. iOSデバイスまたはAndroid端末の **Bluetooth** を「**有効**」にして下さい。(詳細は、*Quick TIPSシリーズ:iOSデバイス版またはAndroid版TruLinkアプリ*の設定手順をご参照下さい。)



⑨デバイスガイド